

南川ボルダー

2017.3.27 rctK

西吾野の先から久通川を天目指峠方面に入り暫く行った、子ノ権現への道路分岐の少し下流と、子の権現への道に入り、少し行った薪集落の手前にボルダーがある。

乾きが悪く苔が付きやすいので、昔きれいにしたが、久通川本流のボルダー(A岩)はほとんど昔の状態に戻っていた。

薪集落下のボルダー(B岩)は少し整備すれば直ぐに登れそうであるが、下地がじめじめしているところがあり、時季によっては登れないと思われる。再度のクリーニングはしていないので、こんなボルダーもあるという情報提供の意味で紹介するが、本流のボルダーの右端のハングは面白い課題となりそうなのでトライするだけの価値はあると思われる。

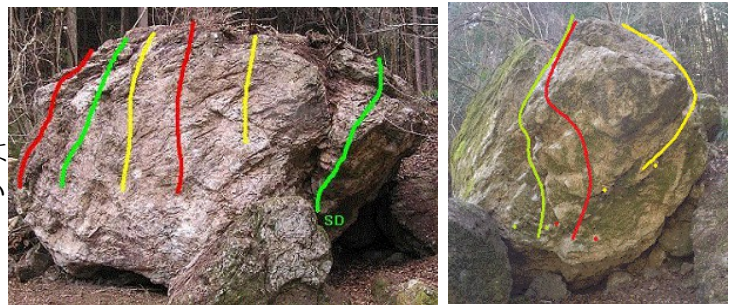
シーズンは、日陰で苔が付きやすく、雨後の乾きは悪いので、乾燥した冬季がベストだと思われる。いずれにしても、行く場合はあまり期待しないで行ってもらいたい。

駐車については、A岩は橋を渡った先の神社前と子ノ権現分岐辺りにスペースがある。川原への降り口はゴミの集積所があるので駐車は控えた方が良い。B岩はボルダーの少し先辺りにスペースがあるが、A岩も含めて確認したわけではないので、苦情が出るようなら駐車を控えてもらいたい。



●A岩

高さは3m程。左のフェイスは苔がびっしりで掃除が大変だが、右のハング部分は上部の苔が酷い程度であり、直ぐにきれいになりそうだったので、今年に入り3回ほど訪れて苔を落としてトライしてみた。



昔、ハングの左側のガバ部分は登った

が、被りの強い右側は、SD課題としてトライしたのだが、シート1枚の怖さもあり登れなかった。

先日久しぶりに覗いてみたら、チョークのついているホールドが見られ、トライ中に欠けたと思われるホールドもあった。抜け口の苔は落とされていなかったもので登られているのかは不明である。

ハングの課題は3本ほどあり、今回登ったのは、赤と黄色の2本である。

赤ラインはクリアした際、足を乗せたリップのホールドが欠けてしまい、欠けたホールドの左の斜めホールドを使い登りなおした。リップ上まで左の黄緑のホールドは使用せず、リップ上で合流するが足はどこを使っても構わない。

黄色のラインはスタンディングポジションから、左手は左下のガバ、右手は目の前のガバからスタートする。ハングの抜け口が核心なので、落ちた際は下の岩に注意が必要である。

最初、赤ルートのスタートホールドから出て、途中から右に出て黄色ラインに合流するラインをトライしたが、ムーヴは繋がっているものの、まだ未解決である。最近の力あるボルダラーなら中央のハング上部を真っすぐ突破できるのではないだろうか。

●B岩(薪ボルダー)

この岩も道路から見える。高さは4m程であるが、上部は傾斜が落ちているので実質3m程度である。

杉林の中にあり、夏季は乾きが悪そうではあるが、今後もSD課題やトラヴァースなどで遊べそうだ。

